



鞆の浦学園だより

No.12

2023年(令和5年)10月17日



仲間のよさを再認識し、深まった団結力

～旅行はみんなで創り上げるもの～

6年生と修学旅行に行ってきました。私自身も京都奈良大阪への修学旅行は約40年ぶりでした。初めて新幹線に乗りワクワクしたこと、旅館の大広間へ大人数で寝たこと、大阪空港で間近に飛ぶ飛行機を見たことが記憶に残っています。しかしこの度実際に行ってみると、東大寺の柱に掘られた穴(鼻の穴の大きさ)が想像以上に小さかったことなど、自分の記憶(イメージ)とかけ離れていたことに驚きました。

修学旅行1日目は、タクシーに乗って京都市内の観光名所巡りで、コースは各班が事前に話し合って計画したものです。京都のタクシー運転手さんは、観光ガイドも兼ねています。二条城の廊下の下を覗き、うぐいす張りの仕組みや、観光地の隠された場所やお土産についても教えてもらったそうです。運転手さんと共に巡る時間はあっという間に過ぎ、お別れの際はちょっと寂しそうでした。以前の修学旅行とは全く違うスタイルです。



みんな抜けられました!

2日目は、奈良県の東大寺、法隆寺、大阪に移動し海遊館と盛りだくさん。東大寺ではシカに大喜び、みんなで恐る恐る鹿せんべいをあげ(奪われ?)ました。待ちに待った海遊館、少し暗い館内に泳ぐジンベエザメや多くの生き物にいやされながら、自然の大切さを感じました。

6年生の児童は、修学旅行に関わってくださった方々や歴史のある建物から多くのことを学びました。また、バス乗車時の点呼やホテルでの生活で、常に仲間の様子を互いに気にかけて、声を掛け合い支え合っている様子が印象的でした。2日間ともに過ごすことで友達の良さを再確認し、さらに団結力を深めたように感じます。

～一生懸命は魅力です～

10月4日にJFE スチール競走部のコーチと選手、法務局と人権擁護委員の方にお越しいただき、4、5年生を対象にスポーツ人権教室を行いました。

走ることに苦手意識を持っていた児童も、走るポイントやコツを教えていただくことで、フォームが変わり生き生きとした顔に変わっていきました。スポーツ教室の後に行った質問コーナーでは、陸上を始めたきっかけや、そのために必要な努力、チームワークを高める工夫や将来の夢、座右の銘など……。時間が足りないほどいっぱい質問し、学んでいました。全ての行事を終え、JFEの選手の方が「多くの学校を訪問しているが、鞆の浦学園の子ども達は前向きで素直、学ぶ意欲が高い子たちですごくかわいい子たちでした。また来たいと思う学校です。」とほめていただき、最高に嬉しかった行事でした。

大人になっても、学び続ける意欲と行動力を求めて

各学年の授業や行事を見ていると「なるほどっ!」「やっぱそうだったんじゃ!」といった声がたくさん聞こえてきます。人権スポーツ教室に来られたJFE競走部の選手達は、1分、1秒タイムを減らすために毎日考えて練習しています。「えんだら一作り」に取り組む方々も修学旅行先で働く方々も、誰もが安心できる住み良い社会を目指して学び続けています。大人になっても役立つ「生き方・ものの考え方」を、学園生活を通して身につけていきたいですね。

修学旅行(6年生)



5日(京都班別行動)～6日(奈良、大阪海遊館)



スポーツ人権教室(4・5年生)



えんだら一作り(2・3年生)



【フリー参観日】

10/30～11/1(～6校時)
※参観できる教科は各学年の通信やクラスルームをご確認ください。

【教育講演会のご案内】

10/30(月)13:40～15:30
体育館
講師：建内博行氏
講師：當山敦己氏